

USER'S MANUAL

デュアルバンド/トリプルモード対応
無線LANアクセスポイント

GW-AP54AG

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

デュアルバンド/トリプルモード対応
無線LANアクセスポイント

GW-AP54AG

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧ください必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「感電」「火災」「故障」などが発生する場合があります。

これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「液漏」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

警告

■ 無線機器に関して

・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。

列車内など、人と人が近接する可能性のある場所では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。

これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている方と近接することで、万一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

・医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示にしたがってください。医療機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは万一にでも各種医療機器へ影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。本製品の電波出力は規定に沿ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、前述の心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示にしたがってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。

・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示にしたがってください。交通機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは各種交通機関の制御装置や機器などに影響を与える恐れを防ぐためです。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は機内でのご利用にならないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

・電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。

■ 設置及び保管に関して

- ・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 電波に関して

- ・本製品の無線LANの周波数帯は、医療機器、電子レンジなどの産業・科学機器や工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。
- ・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2.4 DSOF 4

■ 取り扱いに関して

- ・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

- ・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認ください。
- ・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取り得てください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

■無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

- ・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- ・ 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・ 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

- ・ 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・ 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- ・ 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・ 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

本製品を安全にご利用いただくために	2
第1章 はじめに	
1.概要	9
2.特長	10
3.梱包内容の確認	10
4.対応機種および対応OS	11
5.各部の名称	12
第2章 インストール	
1.設置場所について	15
2.電源の接続	16
3.PoE受電機能を使用した電源供給	17
4.本製品とハブの接続	19
第3章 本製品を設定するための準備	
1.WindowsXPの場合	21
2.Windows2000の場合	26
3.WindowsMe/98SEの場合	33
第4章 WEBブラウザを使用した設定	
1.WEB設定画面の起動方法	39
2.各種設定項目の説明	41
第5章 Telnetソフトからの設定	
	71
付録A 設置環境への注意	73
付録B 仕様	75
ユーザー登録について	78
弊社へのお問い合わせ	79
質問表	80
保証規定	82

はじめに

1 の章では本製品をコンピュータにインストールする際の手順について説明します。

1 概要

本製品は、無線LANと既存のイーサネットネットワークを接続するための無線アクセスポイントです。本製品を使用することで、既存のイーサネットネットワーク資産を利用した無線LANをシームレスに構築することが可能です。無線規格はIEEE802.11a/802.11b/802.11gに準拠し、通信速度は 802.11a/802.11g : 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps、802.11b : 11/5.5/2/1Mbps に対応しています。

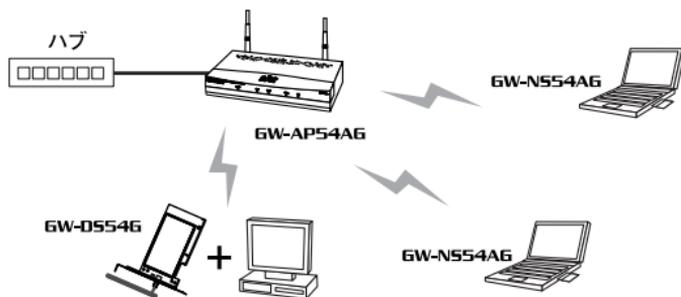


図1-1 ワイヤレスLAN構築図

2 特長

- IEEE802.11a/802.11b/802.11g 準拠
- IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX 準拠
- ノイズに強いDSSS/OFDM方式
- 免許が不要な2.4GHz/5GHz周波数帯を使用※1
- 802.11a/802.11g : 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps 自動認識、802.11b : 11/5.5/2/1Mbps 自動認識
- 64/128/152bit WEP、RADIUS、IEEE802.1x/EAP(MD5/TLS)、パスワード、MACアドレスフィルタリングに対応
- 最大130mまでの通信距離（屋内使用時、見通し距離）※2
- PoE（Power over Ethernet）に対応
- WEBブラウザ、Telnetソフトからの設定に対応

※1 IEEE802.11a（5GHz周波数帯）対応製品は、電波法により屋外での使用を禁じられています。

※2 環境により上記距離を満たせない場合があります。

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

- GW-AP54AG 本体
- 専用ACアダプタ
- PoEアダプタ
- UTPストレートLANケーブル（1m）
- ユーザズマニュアル（保証書付）

付属品が足りないときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 対応機種および対応OS

本製品の対応機種および対応OSは以下のようになっています。

- PC/AT互換機
 - ・WindowsXP
 - ・Windows2000
 - ・WindowsMe
 - ・Windows98 SecondEdition

■ 前面

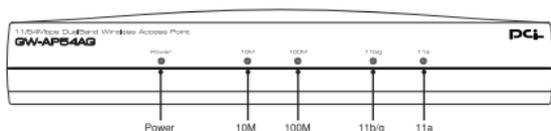


図1-2 GW-AP54AG前面図

本製品前面にはステータスを表示する以下のLEDを備えています。

LEDの名称	色	機能説明
Power	緑	点灯:電源供給中 点滅:再起動中 消灯:電源が供給されていません
10M	緑	点灯:Ethernetポートが10Mbpsでリンクアップ 点滅:Ethernetポートが10Mbpsでデータ送受信中 消灯:リンクしていません
100M	緑	点灯:Ethernetポートが100Mbpsでリンクアップ 点滅:Ethernetポートが100Mbpsでデータ送受信中 消灯:リンクしていません
11b/g	緑	点灯:IEEE802.11b/gでリンクアップ 点滅:IEEE802.11b/gでデータ送受信中 消灯:リンクしていません
11a	緑	点灯:IEEE802.11aでリンクアップ 点滅:IEEE802.11aでデータ送受信中 消灯:リンクしていません

■背面

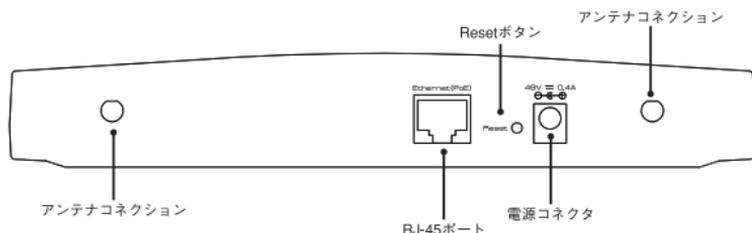


図1-3 GW-AP54AG背面図

「アンテナコネクション」

付属のアンテナを接続します。

「アンテナコネクション」

付属のアンテナを接続します。

「RJ-45ポート」

10BASE-T/100BASE-TX ツイストペアケーブル接続用のRJ-45ポートです。アップリンクポートとして使用します。

「Resetボタン」

本製品が正しく応答しなくなった場合や、機能停止状態になった際に工場出荷時の設定に戻す場合に使用します。本製品背面のResetボタンを10秒以上押し続けて離してください。本製品が再起動しPower LEDが点滅します。Power LEDが点灯すると再起動完了です。

「電源コネクタ」

本製品専用のACアダプタを接続します。

■底面

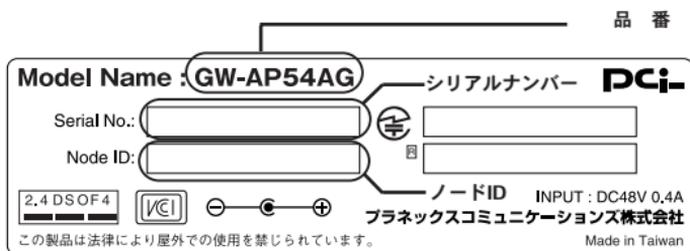


図1-4 GW-AP54AG底面図

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアルナンバー」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザー登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

「ノードID」(MACアドレス)

本製品に固有のノードID (MACアドレス) が記載されています。

インストール

こ の章では本製品をコンピュータにインストールする際の手順について説明します。

1 設置場所について

本製品を設置するには必ず以下の点をお守りくださいますようお願いいたします。

- 湿気の多い場所に設置しない
- チリやほこりの多い場所には設置しない
- 直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しない
- 内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空ける

2 電源の接続

2

インストール
レーション

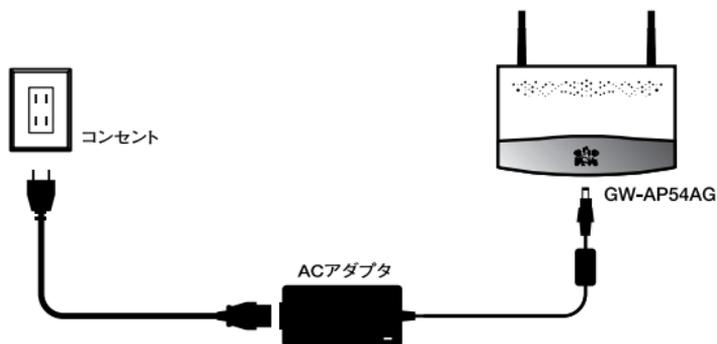


図2-1 電源接続図

1. 本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタを接続します。
2. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続します。
3. 前面のPower LEDが点灯することを確認します。ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

3 PoE受電機能を使用した電源供給

本製品はPoE受電機能を搭載しています。これによりPoE給電モジュールを使用することで、LANケーブルからの給電が可能になります。ここでは付属のPoEアダプタからの給電方法を説明します。

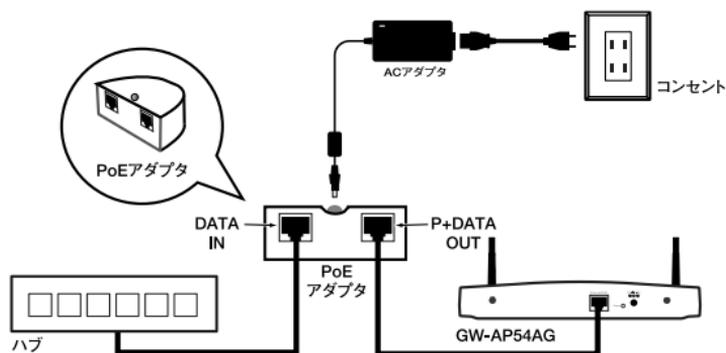


図2-2 PoE接続図

1. 付属のACアダプタをPoEアダプタの電源コネクタに接続します。
2. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続します。
3. LANケーブルをPoEアダプタの「P+DATA OUT」LANポートに差し込みます。

⚠ 注意

PoEアダプタの「P+DATA OUT」ポートにはGW-AP54AG以外は接続しないでください。

4. LANケーブルのもう一端を本製品のLANポートに接続します。
5. 前面のPower LEDが点灯することを確認します。ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

▲ 注意

PoE使用時に本製品を有線ネットワークに接続する場合は、PoEアダプタの「DATA IN」LANポートを使用します。

4 本製品とハブの接続

無線ネットワークを既存の有線ネットワークに接続するためには本製品をハブ又はブロードバンドルータに接続する必要があります。

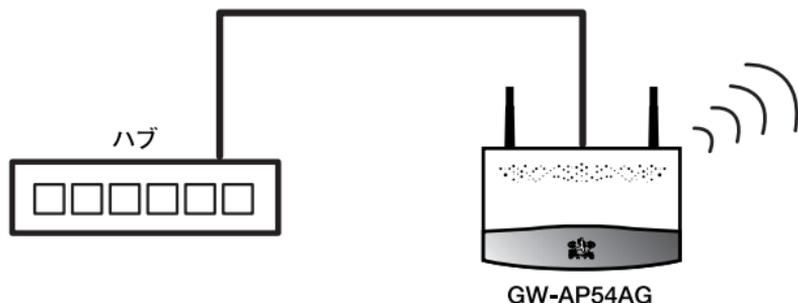


図2-3 LAN接続図

1. ストレート結線されたLANケーブルを用意します。ケーブルの最大長は100mです。
2. LANケーブルの一端をハブの標準ポートに差し込みます。
3. LANケーブルのもう一端を本製品のLANポートに接続します。接続先の機器が正しく動作していれば、本製品前面の10M または 100M LED が点灯します。

⚠ 注意

ハブのUP-Linkポートに接続する場合はクロス結線されたLANケーブルを使用します。また、コンピュータに直接接続される場合もクロス結線されたLANケーブルを使用します。

2

インストールレーション

本製品を設定するための準備

3

本製品を設定するための準備

この章では本製品を設定するための準備について説明します。本章の手順に従ってご使用のコンピュータにネットワークの設定をおこなってください。

1 コンピュータの設定

■Windows XPの場合

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認します。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。
2. 「スタート」 → 「コントロールパネル」 をクリックします。

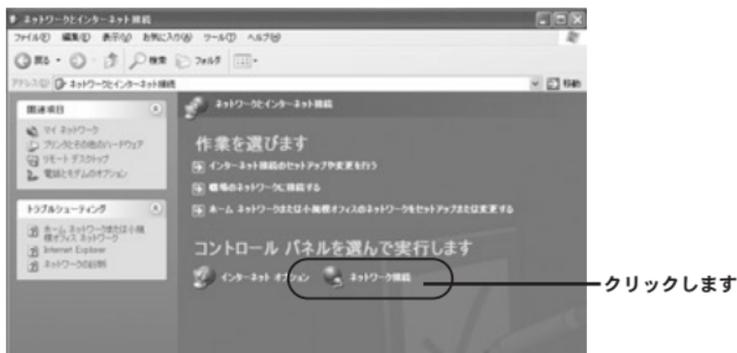


クリックします

3. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



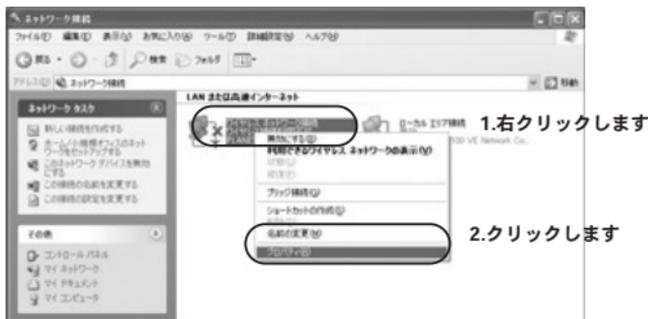
4. 「ネットワーク接続」をクリックします。



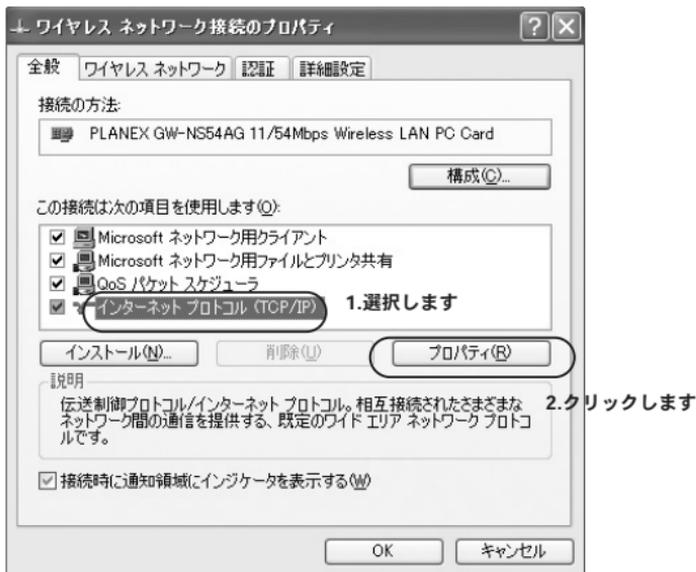
3

本製品を設定するための準備

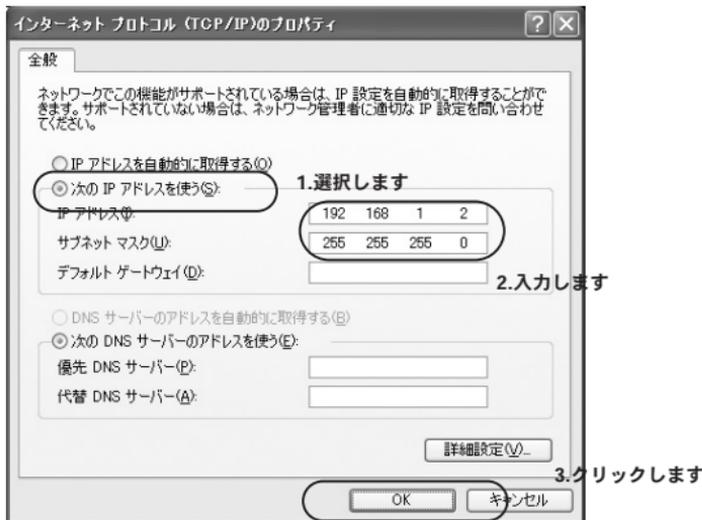
5. 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



6. 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」が表示されます。リストから「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



7. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」が表示されます。「次のIPアドレスを使う」を選択します。IPアドレスに「192.168.1.x」(xは2~255の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。[OK]をクリックします。



⚠ 注意

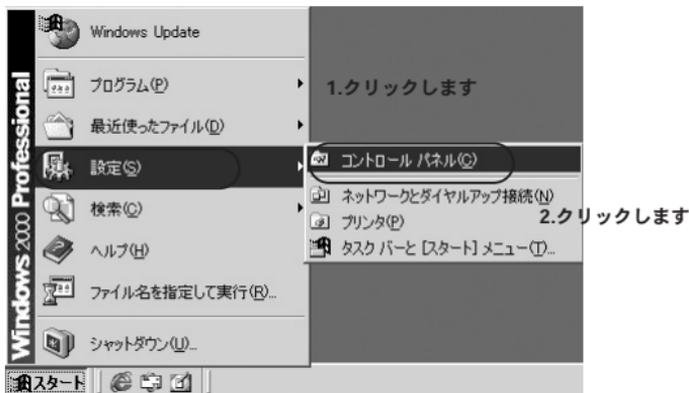
すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割当をおこなっているネットワークでは、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

8. 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の「OK」をクリックし、画面を閉じます。



■Windows 2000の場合

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認します。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。
2. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。



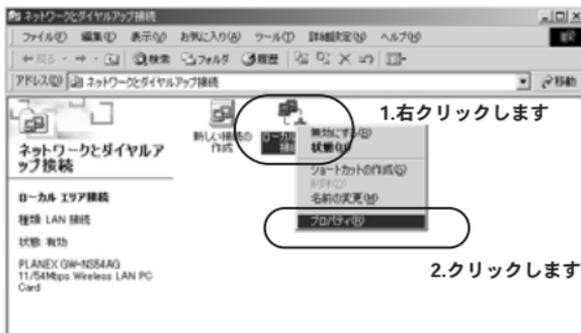
3

本製品を設定するための準備

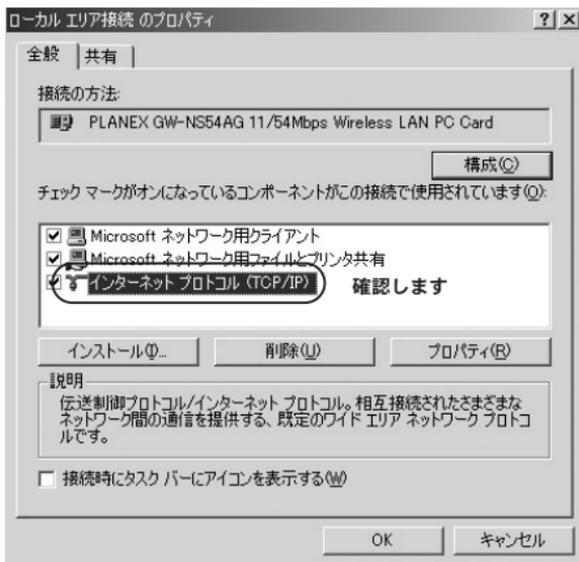
3. 「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。



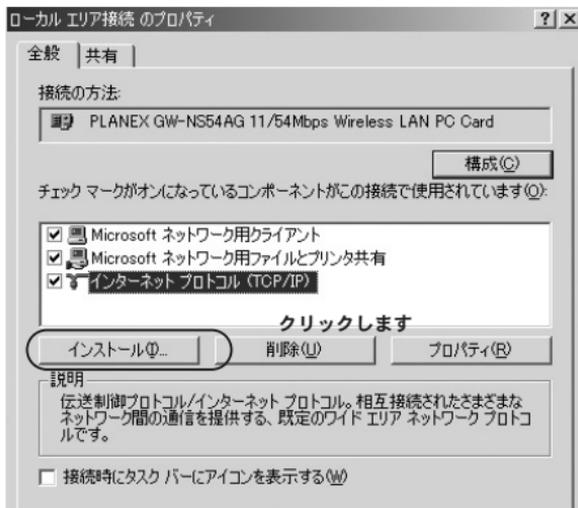
4. 本製品を接続する「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



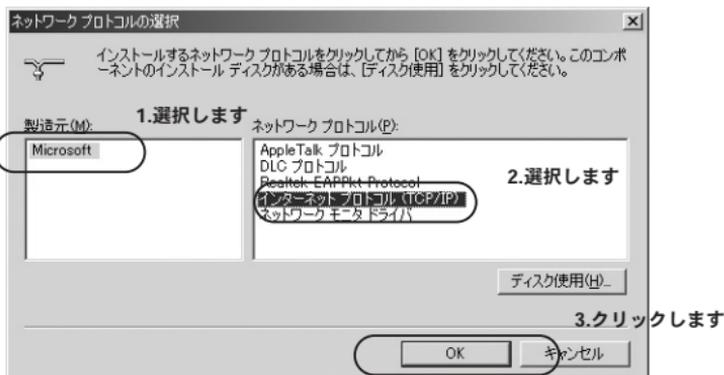
5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。「チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています」の欄に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されているか確認します。インストールされている場合は手順8に進んでください。



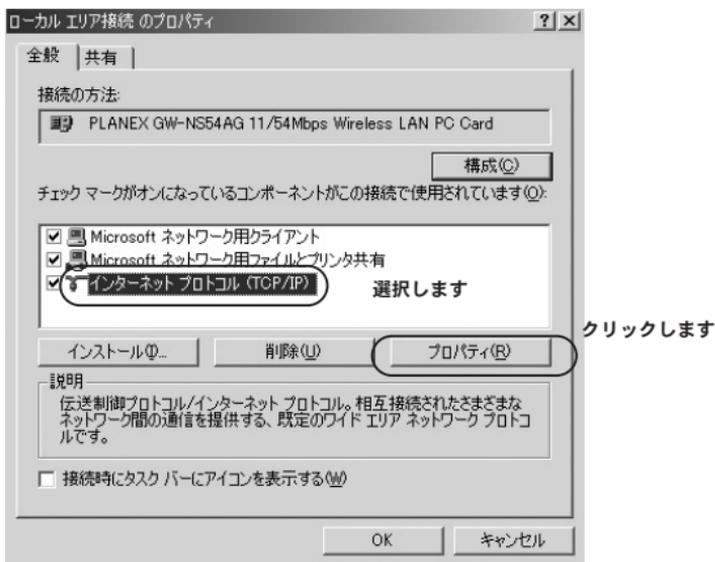
6. インストールされていない場合は「インストール」をクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」をクリックします。



7. 「ネットワークプロトコルの選択」で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択します。「OK」をクリックします。「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻ります。



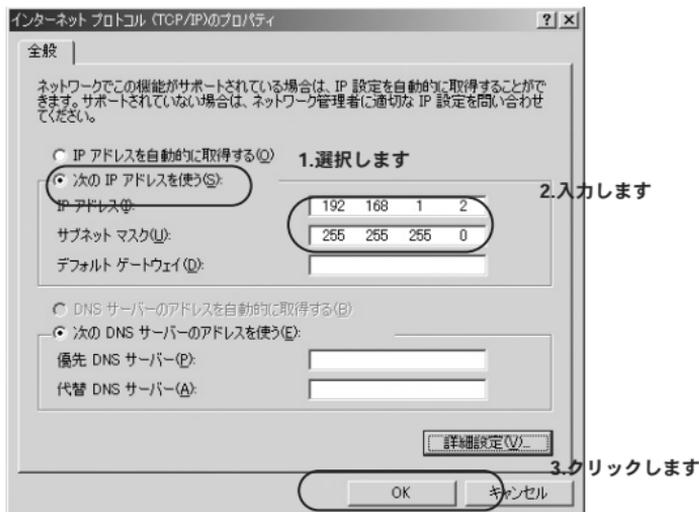
8. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」 を選択し「プロパティ」をクリックします。



3

本製品を設定するための準備

9. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)のプロパティ」が表示されます。「次のIPアドレスを使う」を選択します。IPアドレスに「192.168.1.x」(xは2~255の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。[OK]をクリックします。



⚠ 注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割当をおこなっているネットワークでは、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

10. 「ローカルエリア接続のプロパティ」の「OK」をクリックし、画面を閉じます。

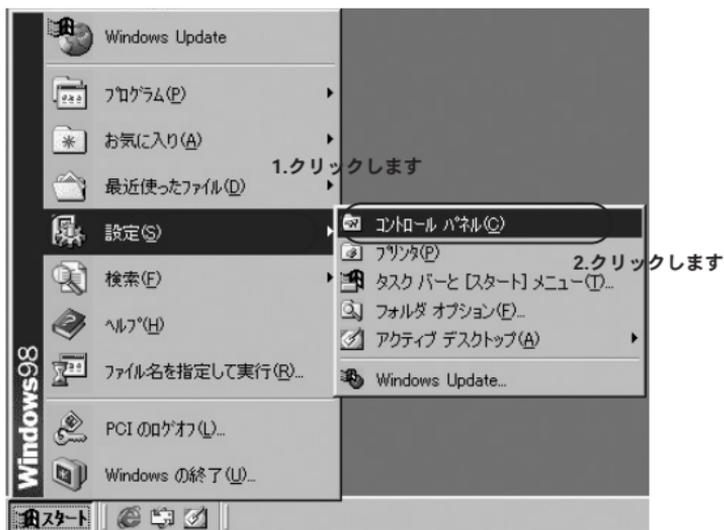


3

本製品を設定するための準備

■Windows Me/98SEの場合

1. コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。
2. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。



3. 「ネットワーク」をクリックします。



クリックします

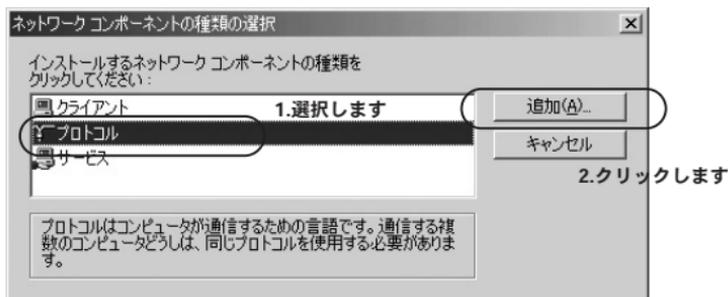
4. 「ネットワーク」が表示されます。「ネットワークの設定」タブをクリックし、「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認します。インストールされている場合は手順7に進んでください。



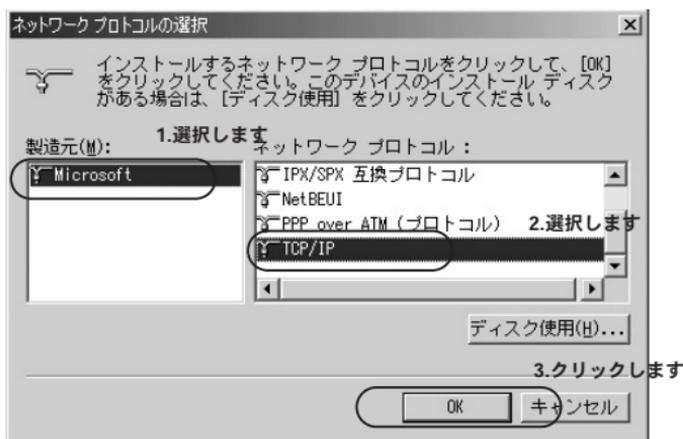
3

本製品を設定するための準備

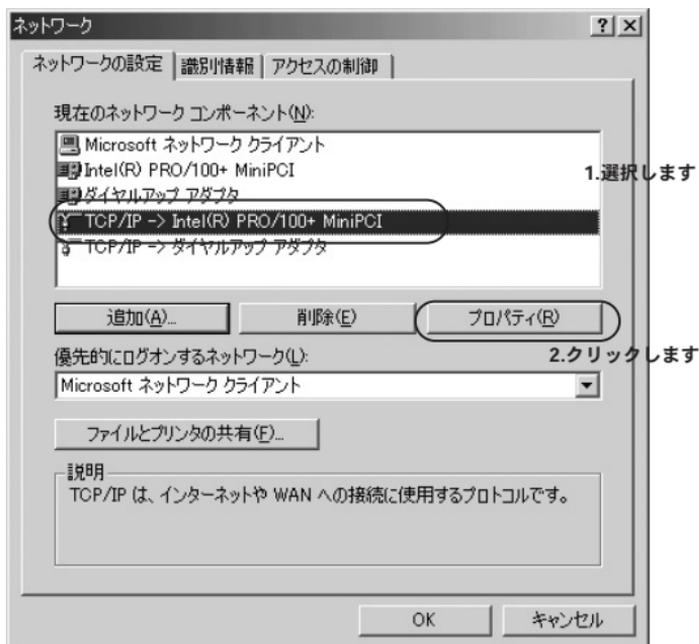
5. インストールされていない場合は「追加」をクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックします。



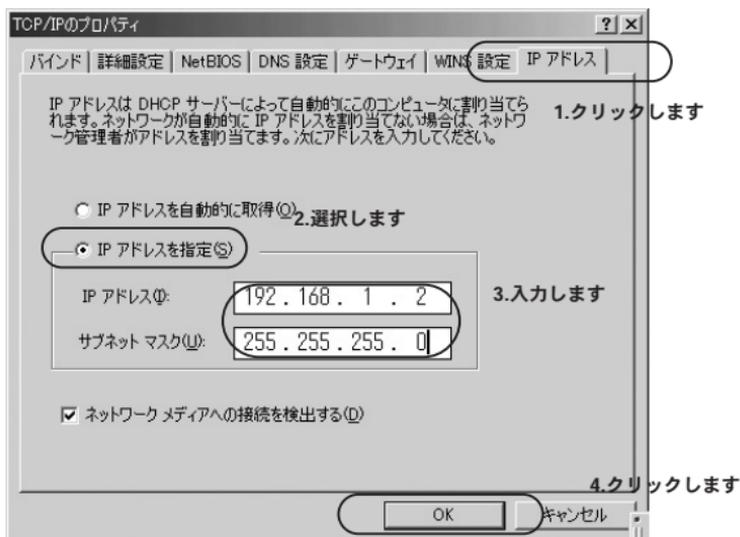
6. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択し、「OK」をクリックしします。



7. 「ネットワーク」 → 「TCP/IP」 を選択し「プロパティ」をクリックします。



8. 「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されます。「IPアドレス」タブをクリックし、画面内の「IPアドレスの指定」を選択します。IPアドレスに「192.168.1.x」(xは2~255の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。[OK]をクリックします。



⚠ 注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバなどによるIPアドレスの自動割当をおこなっているネットワークでは、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

9. コンピュータを再起動します。

3

本製品を設定するための準備

WEBブラウザを使用した設定

本 製品はWEBブラウザを使用して設定をおこないます。この章ではWEB設定画面へのアクセス方法と各種設定項目について説明します。

注意

本製品の工場出荷時のIPアドレス設定

IPアドレス : 192.168.1.1

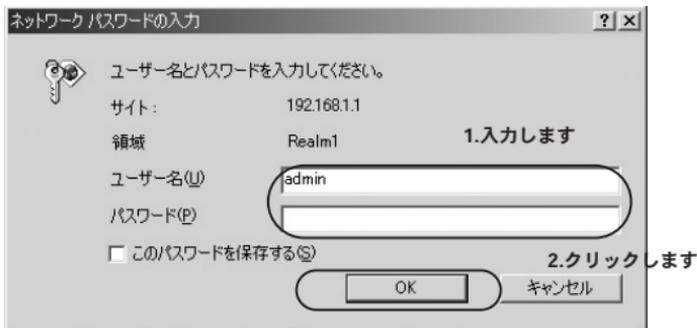
サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 192.168.1.254

1 WEB設定画面の起動方法

1. コンピュータを起動し、WEBブラウザを起動します。
2. WEBブラウザのURL入力欄 (Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押します。

3. 本製品のログイン画面が表示されます。ユーザー名「admin」、パスワード「空欄」を入力し、「OK」をクリックします。



4. 本製品のWEB設定画面が表示されます。



⚠ 注意

WEB設定画面が表示されない場合は以下の項目を確認してください。

- ・コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作しているか確認してください。WindowsではデバイスマネージャでLANカードが正常に動作しているか確認してください。
- ・コンピュータまたはLANカードのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。
- ・コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPアドレスの設定を確認してください。
- ・使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示 (ツール)」→「インターネットオプション」→「接続」、Netscapeでは「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。

2 各種設定項目の説明

■インフォメーション

画面上側の[インフォメーション]をクリックすると表示されます。また、WEB設定画面にアクセスしたときに最初に表示される画面です。ここでは本製品の基本情報が表示されます。



●GW-AP54AGインフォメーション

本製品のMACアドレス、IPアドレス設定が表示されます。

MACアドレス

本製品のMACアドレス（ノードID）が表示されます。

IP設定方法

現在のIPアドレスの設定方法が表示されます。

IPアドレス

現在の本製品のIPアドレスが表示されます。

サブネットマスク

現在の本製品のサブネットマスクが表示されます。

デフォルトゲートウェイ

現在の本製品のデフォルトゲートウェイが表示されます。

●802.11aインフォメーション/802.11gインフォメーション

本製品の802.11a及び802.11b/802.11gの設定情報が表示されます。

SSID

現在の本製品に設定されているSSIDが表示されます。

チャンネル

現在の本製品に設定されている無線チャンネルが表示されます。

転送速度

現在の本製品に設定されている転送速度が表示されます。

セキュリティ

現在の本製品に設定されている認証タイプ、WEP暗号化のステータスが表示されます。

■セットアップウィザード

セットアップウィザードを使って、ワイヤレス環境を手軽に設定することが可能です。802.11aおよび802.11b/802.11gのワイヤレス環境に対応しています。

●ワイヤレスネットワークの設定

セットアップウィザードを使って、ワイヤレス環境を設定する場合は「NEXT」をクリックします。



●802.11aの設定

802.11a接続で使用するSSIDを入力し、チャンネルを選択します。「NEXT」をクリックします。



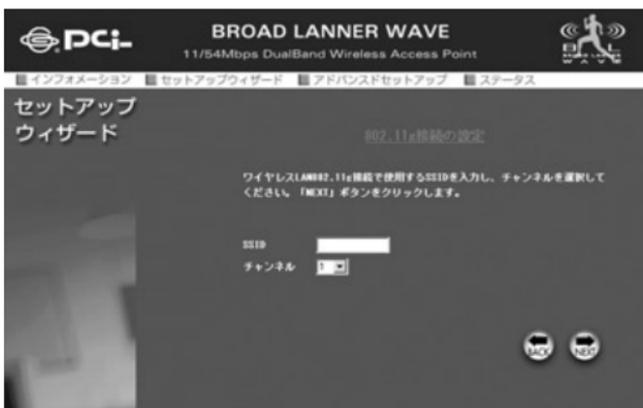
●802.11aの暗号化

802.11a接続でWEP暗号化を有効にする場合は、WEPを「有効」に設定し、暗号キーの値を入力します。「NEXT」をクリックします。



●802.11gの設定

802.11b/802.11g接続で使用するSSIDを入力し、チャンネルを選択します。「NEXT」をクリックします。



●802.11gの暗号化

802.11b/802.11g接続でWEP暗号化を有効にする場合は、WEPを「有効」に設定し、暗号キーの値を入力します。「NEXT」をクリックします。



●ワイヤレス設定が完了しました

これまでの設定を変更する場合は「BACK」をクリックします。「Reboot」をクリックすると、新しい設定を保存して再起動します。



■アドバンスドセットアップ

本製品の設定、管理、メンテナンスをおこないます。

1.設定



●IPアドレス

本製品のIPアドレスの設定及びMACアドレスを表示します。

MACアドレス

本製品のMACアドレスを表示します。

IP設定方法

本製品のIPアドレス設定方法を手動/DHCPから選択します。

IPアドレス

本製品のIPアドレスを設定します。工場出荷時設定は「192.168.1.1」です。

サブネットマスク

本製品のサブネットマスクを設定します。工場出荷時設定は「255.255.255.0」です。

デフォルトゲートウェイ

本製品のデフォルトゲートウェイを設定します。工場出荷時設定は「192.168.1.254」です。

設定が完了したら「適用」をクリックします。設定を有効にするには「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。画面が切り替わらない場合は、ブラウザの表示を更新してください。

●デバイスインフォメーション



本製品のデバイス情報を設定及び表示します。

デバイス名

本製品の品名を表示します。

MACアドレス

本製品のMACアドレスを表示します。

ソフトウェアバージョン

本製品のファームウェアバージョンを表示します。

システム名

ネットワーク内で使用する本製品のデバイス名を設定します。

システム担当者

本製品の管理者情報を設定します。

設定が完了したら「適用」をクリックします。

●ワイヤレスLAN設定



本製品の無線LAN設定をおこないます。

ワイヤレスLAN

設定する通信規格を選択します。IEEE802.11aの設定をおこなう場合はIEEE802.11aを選択します。IEEE802.11gまたはIEEE802.11bの設定をおこなう場合はIEEE802.11gを選択します。

SSID

SSIDを設定します。SSIDはワイヤレスクライアントを特定のアクセスポイントに接続させる場合に有効です。クライアントとアクセスポイントのSSIDを同じ値に設定する事でクライアントはそのアクセスポイントとのみ接続します。

SSIDを隠す

無効を選択した場合、SSIDをビーコンに含めます。これにより本製品のSSIDを周囲のワイヤレスネットワークに公開します。また、有効を選択した場合、SSIDをビーコンに含めません。これにより本製品のSSIDを周囲のワイヤレスネットワークから隠すことができます。

周波数

本製品の周波数帯を表示します。

チャンネル

本製品の無線チャンネルを設定します。近くに別のアクセスポイントがある場合は、なるべく各アクセスポイントのチャンネルを離れた値に設定する事を推奨します。同じ電波領域内では4個以上のアクセスポイントがあると電波干渉の可能性が出てきます。

転送速度

本製品の転送速度を設定します。「自動」を選択すると自動的に最適な速度で通信をおこなうことができます。

ビーコン間隔

本製品のビーコン間隔をミリ秒単位で設定します。ビーコン間隔を小さくすると、クライアントの接続効率が上がりますが、通信効率が下がります。通常はデフォルト値を推奨します。

DTIM

ビーコンにDTIM (Delivery Traffic Identification Maps) を含める割合を指定します。DTIMは、パワーセーブモードのクライアントに対してパケットが待機中であることを通知します。通常はデフォルト値を推奨します。

フラグメント長

パケットの分割サイズを指定します。ここで指定されたサイズより大きいサイズのパケットは、ここで指定したサイズのパケットに分割されます。電波状態が悪いときや接続クライアントが多い場合には、この値を小さくすることで改善されますが、オーバーヘッドが増えるためにスループットは下がります。通常はデフォルト値を推奨します。

RTS長

ここで指定されたサイズ以上のパケットを送信する場合にRTS (Request To Send)を送信します。同一アクセスポイント接続するクライアントが多く、クライアントが相互に認識されない状態（隠れ端末）の場合にはここの値を小さくすることで改善されます。通常はデフォルト値を推奨します。

送信パワー

本製品の送信パワーを設定します。

設定が完了したら「適用」をクリックします。設定を有効にするには「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。画面が切り替わらない場合は、ブラウザの表示を更新してください。

●WLAN設定

本製品のネットワーク管理に関する設定をおこないます。



ワイヤレスLAN

設定する通信規格を選択します。IEEE802.11aの設定をおこなう場合はIEEE802.11aを選択します。IEEE802.11gまたはIEEE802.11bの設定をおこなう場合はIEEE802.11gを選択します。

ワイヤレスセパレーション

本製品に接続している同一規格のクライアント同士の通信の有効/無効を設定します。

有線LANと無線LAN間の接続

本製品に接続している、有線LANと無線LAN間での通信の有効/無効を設定します。

802.11aと802.11g間の接続

本製品に接続している、802.11aクライアントと802.11b/gクライアント間での通信の有効/無効を設定します。この設定は802.11a/802.11g共通です。

設定が完了したら「適用」をクリックします。設定を有効にするには「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。画面が切り替わらない場合は、ブラウザの表示を更新してください。

●MACアドレスフィルタリング

本製品のMACアドレスフィルタリング設定をおこないます。



ワイヤレスLAN

設定する通信規格を選択します。IEEE802.11aの設定をおこなう場合はIEEE802.11aを選択します。IEEE802.11gまたはIEEE802.11bの設定をおこなう場合はIEEE802.11gを選択します。

コントロール

MACアドレスフィルタリングの無効/許可/拒否を選択します。「無効」を選択した場合、MACアドレスフィルタリングは機能しません。「許可」を選択した場合、登録したMACアドレスのみと通信をおこないます。「拒否」を選択した場合、登録したMACアドレスとの通信をおこないません。

MACアドレスの入力

登録するMACアドレスを入力します。入力フォーマットはMACアドレスが「xxxxxxxxxxxx」の場合は、「xx:xx:xx:xx:xx:xx」となります。

現在のアクセスコントロールリスト

現在登録されているMACアドレスの登録リストです。登録したMACアドレスを削除する場合は削除欄の「X」をクリックします。

設定が完了したら「保存」をクリックします。設定を有効にするには「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。画面が切り替わらない場合はブラウザの表示を更新してください。

●セキュリティ設定



本製品のセキュリティ設定をおこないます。

ワイヤレスLAN

設定する通信規格を選択します。IEEE802.11aの設定をおこなう場合はIEEE802.11aを選択します。IEEE802.11gまたはIEEE802.11bの設定をおこなう場合はIEEE802.11gを選択します。

認証

認証規格を選択します。

WEP

WEP暗号化の有効/無効を選択します。

WEP入力方法

WEPキーの入力方法を16進数/ASCIIから選択します。ASCIIを選択した場合、入力した文字列を自動的に16進数へ変換します。

WEP キーサイズ

WEP暗号化のキーサイズを選択します。キーサイズが大きいほど安全ですが、速度が遅くなります。

デフォルトキー

使用するWEPキーを選択します。認証規格「802.1x」とWEP暗号化を併用する場合、選択できるデフォルトキーは、キー2

注意

デフォルトキーを「1」以外に設定すると、複数のWEPキーを登録できない無線クライアントとの通信ができなくなります。

～ 4になります。

WEP キー (1~4)

64bitのWEPを使用する場合、キーに10桁の16進数または5桁のASCII文字を入力します。128bitのWEPを使用する場合、キーに26桁の16進数または13桁のASCII文字を入力します。152bitのWEPを使用する場合、キーに32桁の16進数または16桁のASCII文字を入力します。

設定が完了したら「適用」をクリックします。設定を有効にするには「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。画面が切り替わらない場合はブラウザの表示を更新してください。

●802.1x認証

「アドバンスドセットアップ」→「セキュリティ設定」→「認証」で「802.1x」を選択した場合に表示します。802.1x認証の設定をおこないます。



WEPキーサイズ

802.1x認証で使用するWEPキーサイズを選択します。

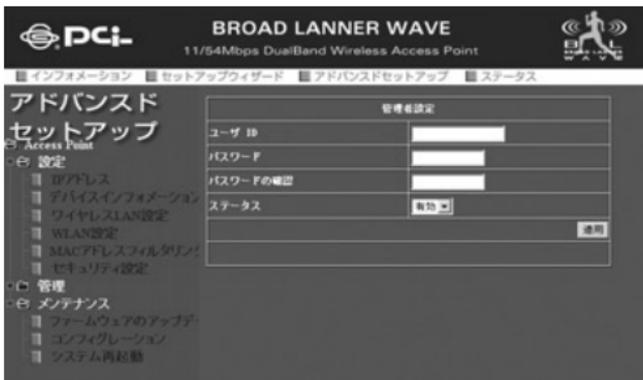
認証先

802.1x認証で使用する認証先を選択します。「ローカル」を選択した場合、認証先は本製品になります。ネットワーク内にRadiusサーバが存在する場合は、「Radiusサーバ」を選択します。

設定が完了したら「次へ」をクリックします。認証先で「ローカル」を選択した場合、「管理者設定」画面が表示されます。「Radiusサーバ」を選択した場合、「Radiusサーバ設定」画面が表示されます。

●管理者設定

「アドバンスドセットアップ」→「セキュリティ設定」→「802.1x認証」→「認証先」で「ローカル」を選択した場合には表示します。802.1x認証で使用するローカルサーバ設定をおこないません。



ユーザーID

認証で使用するユーザーIDを設定します。

パスワード

認証で使用するパスワードを設定します。

パスワードの確認

パスワードを再入力します。

ステータス

設定したユーザーIDの有効/無効を選択します。

設定が完了したら「適用」をクリックします。設定を有効にするには「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。画面が切り替わらない場合はブラウザの表示を更新してください。

● 「Radiusサーバ設定」

Radiusサーバに関する設定をおこないます。Radiusサーバの使用方法については、Radiusサーバのマニュアルを参照してください。



接続先

本製品はファースト/セカンド/サードサーバの冗長構成が可能です。設定をおこなうRadiusサーバを1/2/3から選択します。

Radiusサーバ

RadiusサーバのIPアドレスを設定します。

認証ポート

Radiusサーバの認証ポートを設定します。デフォルト設定のポート番号は「1812」です。

課金ポート

Radiusサーバの課金ポートを設定します。デフォルト設定のポート番号は「1813」です。

キー

Radiusサーバでの認証に使用するパスワードを設定します。

キーの確認

Radiusサーバでの認証に使用するパスワードを再入力します。

ステータス

設定の有効/無効を選択します。

クライアントRadiusサーバ テーブル

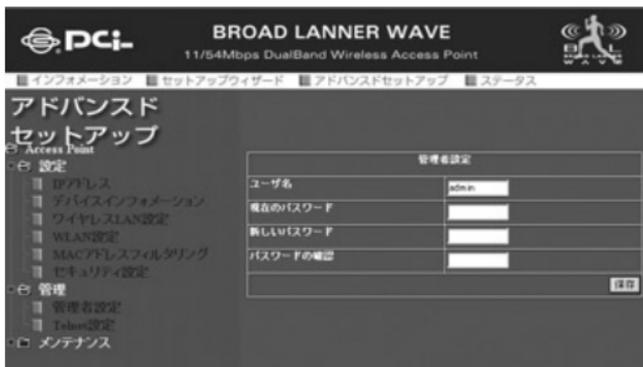
現在のファースト/セカンド/サードサーバ設定を表示します。

設定が完了したら「適用」をクリックします。設定を有効にするには「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。画面が切り替わらない場合はブラウザの表示を更新してください。

2.管理

●管理者設定

本製品のWEB設定画面にログインする際に使用するユーザー名、パスワードの設定をおこないます。



ユーザー名：

WEB設定画面にログインする際に使用するユーザー名です。工場出荷時設定は「admin」です。

現在のパスワード

WEB設定画面にログインする際に使用する現在のパスワードです。

新しいパスワード

パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを入力します。

パスワードの確認

新しいパスワードを再入力します。

設定が完了したら「保存」をクリックします。

●Telnet設定

本製品はTelnetソフトを使用して設定の表示及び変更が可能です。Telnetソフトでの設定画面の操作方法は「第5章 Telnetソフトからの設定」を参照してください。



Telnetサービス

Telnetソフトを使用して設定の表示及び変更をおこなう場合は、チェックボックスをオンにします。

タイムアウト

無操作時のタイムアウト間隔を設定します。

設定が完了したら「適用」をクリックします。設定を有効にするには「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。画面が切り替わらない場合はブラウザの表示を更新してください。

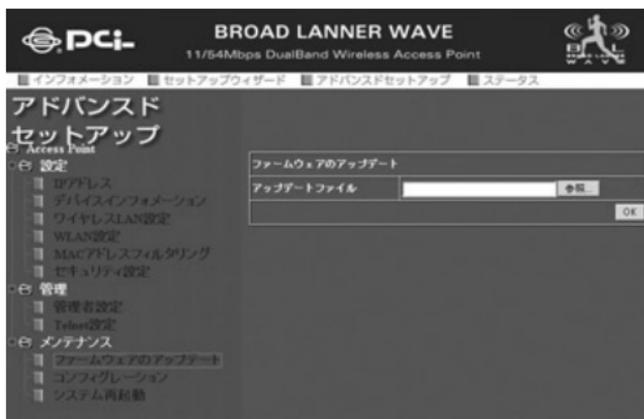
4

WEBブラウザを使用した設定

3. メンテナンス

●ファームウェアのアップデート

ファームウェアのアップデートをおこないます。最新のファームウェア情報は <http://www.planex.co.jp/> をご覧ください。アップデートをおこなう場合は以下の手順でおこないます。

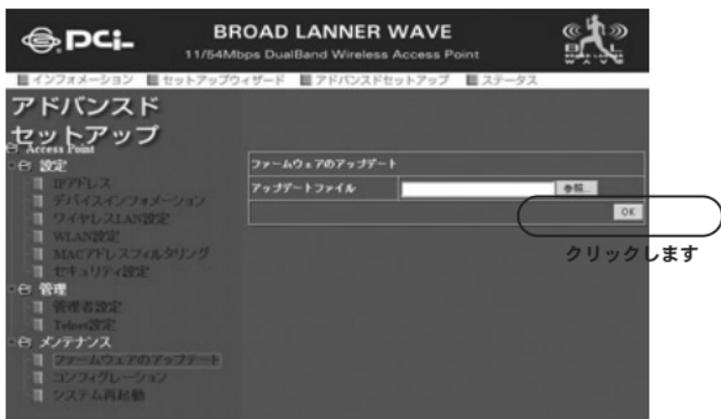


1. アップデートするファームウェアファイルをPCに保存します。

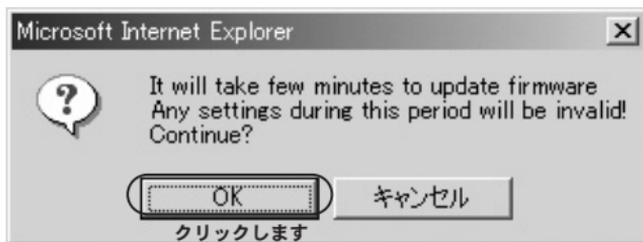
2. 「アップデートファイル」欄に、ファームウェアファイルの場所をフルパスで入力するか、または「参照」をクリックしてファイルを指定して「開く」をクリックします。



3. 「OK」をクリックします。



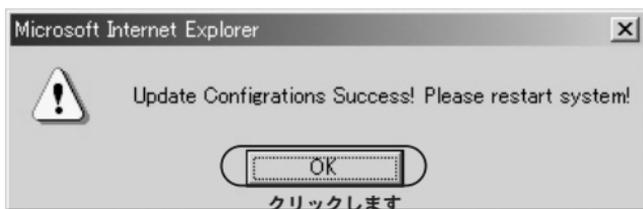
4. 確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックするとアップデートが開始されます。



注意

パスワードが設定されている場合、ログイン画面が表示されます。本製品に設定した「ユーザー名」、「パスワード」を入力します。

5. アップデートに成功すると「アップデート成功」が表示されます。「OK」をクリックし、「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。画面が切り替わらない場合は、ブラウザの表示を更新してください。



注意

ファームウェアのアップデート中は本製品とアップデートに使用しているPCの電源を切らないでください。

●コンフィグレーション

設定の保存/書き戻しをおこないます。



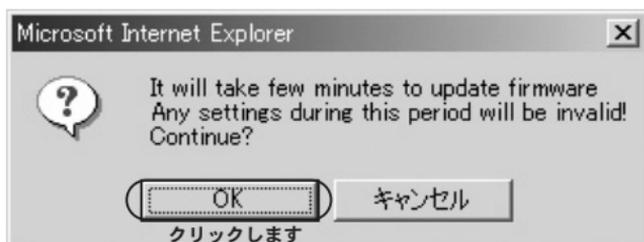
1. 設定ファイルの読み込み

保存した設定ファイルを本製品に読み込みます。

2. 「アップデートファイル」欄に、ファームウェアファイルの場所をフルパスで入力するか、または「参照」をクリックしてファイルを指定して「開く」をクリックします。



3. 「OK」 をクリックします。
4. 確認ダイアログが表示されます。「OK」 をクリックするとアップデートが始まります。



⚠ 注意

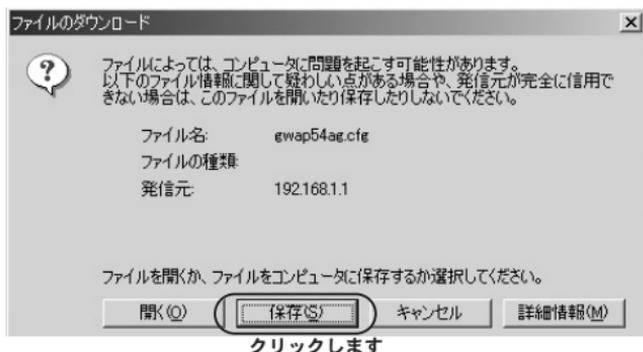
パスワードが設定されている場合、ログイン画面が表示されます。本製品に設定した「ユーザー名」、「パスワード」を入力します。

- アップデートに成功すると「アップデート成功」が表示されず。「OK」をクリックし、「アドバンスドセットアップ」→「メンテナンス」→「システム再起動」から本製品を再起動します。現在の設定を「.cfg」ファイルとして保存します。



設定ファイルの保存

- 「OK」をクリックすると「ファイルのダウンロード」が表示されます。「保存」をクリックします。



2. 「名前をつけて保存」が表示されます。ファイル名を指定し「保存」をクリックすると本製品に接続されたPCに現在の設定を保存します。



4

WEBブラウザを使用した設定

●システム再起動

本製品を再起動する場合は「再起動」をクリックします。確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックします。本製品が再起動しても画面が切り替わらない場合は、ブラウザの表示を更新してください。



●設定初期化

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す場合は、「実行」をクリックします。



ステータス

本製品のステータスを表示します。確認できる項目は以下の項目になります。

●送受信統計

802.11g送受信統計	
送信成功率	100 %
送信リトライ率	0 %
受信成功率	100 %
受信重複率	0 %
RTS成功数	0
RTS失敗数	0
RTS成功率	100 %

送信成功率
送信リトライ率
受信成功率
受信重複率
RTS成功数
RTS失敗数
RTS成功率

●送信フレーム

The screenshot shows the 'ステータス' (Status) page of a Broad Lanner Wave wireless access point. The page title is 'BROAD LANNER WAVE' and the model is '11/54Mbps DualBand Wireless Access Point'. The navigation menu includes 'インフォメーション', 'セットアップウィザード', 'アドバンスドセットアップ', and 'ステータス'. The 'ステータス' section is expanded to show '送信フレーム' (Transmitted Frames) statistics. A table displays the following data:

送信フレーム数	
送信したフラグメント数	92
送信したマルチキャストフレーム数	54
送信したエラー数	0
送信したリトライ総数	0
送信したリトライ重複数	0

送信したフラグメント数

送信したマルチキャストフレーム数

送信したエラー数

送信したリトライ総数

送信したリトライ重複数

●受信フレーム

受信したフレーム数

受信したフラグメント数	71
受信したマルチキャストフレーム数	13
受信したFCSフレームエラー数	0
受信した重複フレーム数	0
Ack Rcvの失敗	0

受信したフラグメント数

受信したマルチキャストフレーム数

受信したFCSフレームエラー数

受信した重複フレーム数 (802.11aのみ)

Ack Rcvの失敗

●WEPフレームエラー

WEPフレームエラー数

WEP排除フレーム数	0
WEP ICVエラー数	0

WEP排除フレーム数

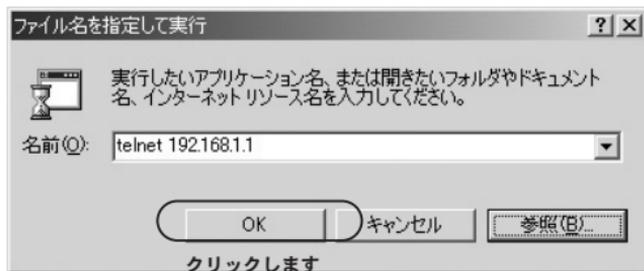
WEP ICVエラー数

現在のステータスを確認するには「reload」をクリックします。

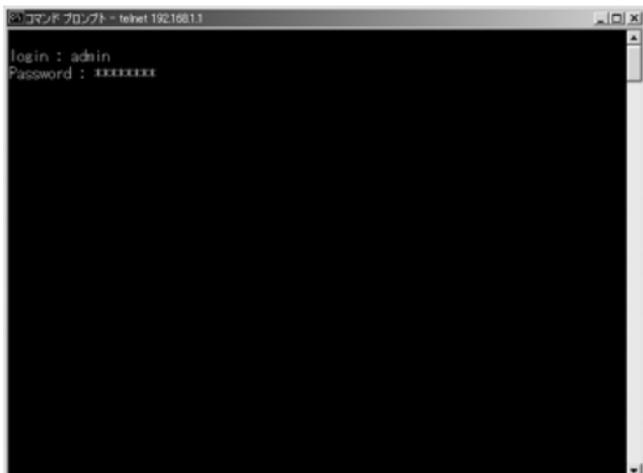
Telnetソフトからの設定

本 製品はTelnetソフトからの設定に対応しています。Telnetソフトを使用して設定画面を表示するには、以下の手順でおこないます。ここではWindows 標準のアプリケーション「コマンドプロンプト」からの手順を例に説明します。

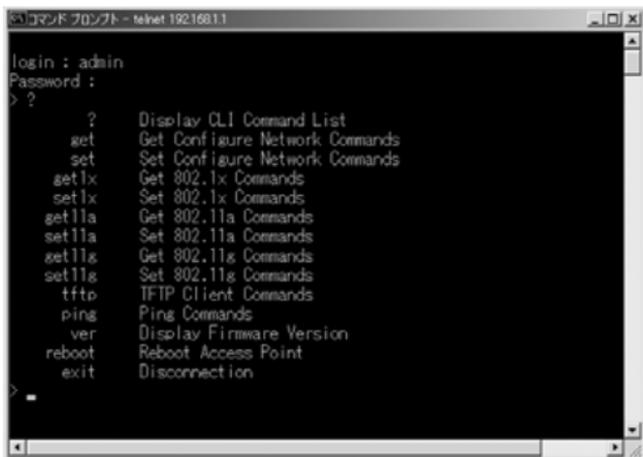
1. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択します。
2. 「名前」欄に「telnet xxx.xxx.xxx.xxx」（xxx.xxx.xxx.xxx は本製品のIPアドレス）を入力し、「OK」をクリックします。



3. コマンドプロンプトからTelnetが起動します。「login: 」と「password: 」に本製品に設定したユーザー名とパスワードを入力します。



4. 「?」または「help」と入力すると、使用できるコマンドが表示されます。各コマンドに関してはヘルプを参照してください。



設置環境への注意

無線LAN はケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信できないなどの問題が生じます。安定した通信をおこなうにはできる限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 (*が多いほど、影響が大きいことを表します。)	具体例
空気	*	—
石材	**	木材の仕切り
石膏	**	仕切り壁
合成素材	**	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	**	天井
ガラス	**	窓ガラス
水	***	湿った木材
煉瓦	***	煉瓦壁
大理石	****	石壁
セメント コンクリート	****	床、壁
防弾ガラス	****	哨舎
鉄	*****	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

A

設置環境への注意

仕様

B

仕様

項目	説明
品名	デュアルバンドトリプルモード対応 無線LANアクセスポイント
型番	GW-AP54AG
無線LANインターフェース部:IEEE802.11a	
準拠する規格	IEEE802.11a、ARIB STD-T71
アクセス方式	インフラストラクチャモード
通信速度	54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps 自動認識
周波数帯	5,150～5,250MHz
チャンネル	4ch
アンテナタイプ	デュアルダイポールアンテナ
伝送方式	直交多重分割変調(OFDM方式)
通信距離	IEEE802.11a : 54Mbps/50 m , 6 Mbps/95m (屋内見通し距離)※
セキュリティ	64/128/152bit WEP、RADIUS IEEE802.1x/EAP(MD5/TLS) パスワード、MACアドレスフィルタリング
無線LANインターフェース部:IEEE802.11g/802.11b	
準拠する規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b ARIB STD-T66/RCR STD-33A
アクセス方式	インフラストラクチャモード
通信速度	IEEE802.11g : 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps 自動認識 IEEE802.11b : 11/5.5/2/1 Mbps 自動認識
周波数帯	2,400～2,497MHz
チャンネル	13ch
アンテナタイプ	デュアルダイポールアンテナ
伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS方式) 直交周波数分割多重変調(OFDM方式)

項目	説明
通信距離	IEEE802.11g : 54Mbps/40 m, 6 Mbps/100 m IEEE802.11b : 11Mbps/60 m , 1 Mbps/130 m (屋内見通し距離)※
セキュリティ	64/128/152bit WEP、RADIUS IEEE802.1x/EAP(MD5/TLS) パスワード、MACアドレスフィルタリング
有線LANインターフェース部	
準拠する規格	IEEE802.3u 準拠(100BASE-TX) IEEE802.3 準拠(10BASE-T) IEEE802.3af 準拠(PoE)
通信速度	10/100Mbps
アクセス方式	CSMA/CD
ポート数	RJ-45×1ポート
ネットワークケーブル	10BASE-T/100BASE-TX カテゴリ3、4、5ツイストペアケーブル
その他	
対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE
各種設定	WEBブラウザ、Telnetソフト
LED	Power、10M、100M、11b/g、11a
消費電力	ACアダプタ使用時:7W (最大)、PoE使用時:8.5W (最大)
外形寸法	221 (W)×136.5 (D)×38.5 (H) mm (アンテナ部分除く)
重量	520g (ACアダプタ除く)
動作温度	0 ~ 40 °C
動作湿度	35 ~ 90% (結露しないこと)
EMI	VCCI classA

※環境により記載距離を満たせない場合があります。

MEMO

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PCIダイレクト〉

<http://direct.planex.co.jp/>

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈電話〉

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

* 祝祭日および弊社規定の休業日を除く

〈お問い合わせフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

受付：24時間

〈FAX〉

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願ひ

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力お願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名 (Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境 (回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

ブラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

注) 上記内容は2003年10月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	デュアルバンド/トリプルモード対応無線LANアクセスポイント
型番 Product No.	GW-AP54AG
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ（株）は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理の手順（センドバック方式）

弊社では、センドバック（先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する）方式による修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

ブラネックスコミュニケーションズ（株）サポートセンター

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-5614-1018

<http://www.planex.co.jp/support/repair/>

2. ご案内に従って修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。

（誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担でお願いいたします）

3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

保証書

●弊社の保証規定を必ずご覧下さい●

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日 より 1年間
製品名 Product name	デュアルバンド/トリプルモード対応 無線LANアクセスポイント
型番 Product No.	GW-AP54AG
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 道 府 県
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

プラネックスコミュニケーションズ株式会社